

令和6年度 いのちの授業 事例集（中学校）【 理科 】

掲載数

9

地区	学年	教科等	テーマ	内 容	参考事項（講師・教材等）
1 相模原市	中3	理科	生命の誕生	相模原市内の内水面試験場で保護されている藤沢メダカを借用して、理科の実験の中で有性生殖を行わせた。その受精卵の卵割を観察後、数日前に受精した受精卵の胚に生じている拍動の観察させる。 授業の最後に拍動のある胚を潰すように指示した。（実際には潰させない）この授業を通して生命はどの時点で生じているのかを考えさせた。	身近に流れる川に昔生息していたメダカを実際に使用することで、環境教育の観点でも指導ができた
2 湘南三浦	中複合	理科	生命に関する授業	1学年で色々な生物とその共通点を25時間で学習し、2学年で生物の体のつくりとはたらきを37時間で学んだ。その上で3学年で生命の連続性を22時間で学んで、遺伝によって親から自身がつながってさらにその子孫へと受け渡されていくという生命のつながりについて学んだ。これらの学習を通じて生命について視野を広げ深めることができた。	理科教科書、資料集 映像資料など
3 湘南三浦	中3	理科	防災学習	3時間の授業計画で、冊子を用いて、防災について理解を深められるよう学習を行った。 後半は、「藤沢市で災害が起こったとき、あなたは自分の命を自分で守れますか」について考え、災害時は自分で考えて行動でき、自分を守るようになるよう、自分自身の防災についての考えを深めた。	中学生向け防災啓発冊子 「ふじさわ防災ナビジュニア」
4 湘南三浦	中3	理科	在来種と外来種	人間の活動が国を越えて盛んになるにつれ、さまざまな生物も輸入、飼育されるようになった。しかし、人間の身勝手で飼育できなくなった個体が野生化し、在来種と競合することで在来種の個体数が減っている事例がある。今回の内容では、単に外来種の駆除だけでなく、外来種も命をもっていることを把握させ、身勝手な行動について考える機会を設定した。	
5 湘南三浦	中3	理科	遺伝	遺伝の規則性について学ぶとともに、すべての生物の命が受け継がれていくこと、また、受精から一つの個体として命ができあがって行く過程を通して、生命の神秘について学んだ。	未来へひろがるサイエンス3
6 湘南三浦	中3	理科	食物連鎖	自然の環境に生きる動物、また人間も含めたすべての動物は、他の生物の命を取り入れることで生きている。すべての命のもととなるのは太陽の光であるが、そこから繋がる命の循環について学んだ。	未来へひろがるサイエンス3

7	県央	中 3	理科	「生命の連続性」 生物の増え方について学ぶ中で、生命のつながりの尊さに気づく	カードを遺伝子に見立てたモデル実験を通して、親から子へどのように形質が受け継がれているのか、身近なことからつながりを実感させた。その後、NHK for School「生物の進化」の視聴などを通して、生命が長い年月をかけて、環境に合う体を作ってきたことを理解させ、大きな視野を持った生命のつながりを実感させた。学習後、生徒は「一つの細胞から始まり、複雑な生物へと進化しながら多くの生物が生まれ現在に至っていることに驚きと尊さを感じた」など、「いのちのつながり」を実感していた。	
8	中	中複合	理科	地震のしくみと防災	特別支援学級 2 年生、3 年生の理科において、地震の仕組みを学ぶとともに、非常時に身を守り、命を守ることの大切さについて学ぶ授業を行った。まずは自分の命を大切に身を守ること、そして家族や友人ともその大切さを共有することなど、具体的な身の守り方について学んだ。また、阪神淡路大震災や東日本大震災などの事例や家族愛などのエピソードも話題にして、わかりやすい内容を心掛けた。	特別支援学級 2 年生、3 年生
9	県西	中 1	理科	植物の分類	「実や種子をつくる花のつくりと変化」の観察で、実際の植物（ツツジ）を分解して、花のつくりについて観察を行った。植物も生物の一種なので、生きていることを教えた上での観察だったため、ものとしての教材ではなく大切ないのちを教材として学習し、終了後もていねいに片付ける姿勢が見られた。	